

令和6年度 江戸川区立二之江第二小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	～すすんで行く二小の子～ ◎思いやりのある子 ◎やりぬく子 ◎元氣な子 ◎考える子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	笑顔があふれ、活気に満ちた明るい学校 子供たちに夢と希望を抱かせ、自立する力を育てる学校 学ぶことの意義が実感できる教育環境を整え、創意工夫ある教育活動を展開する学校
前年度までの本校の現状	成果 ・特別支援教育に関する専門的知識を持った教員が、担任や専科教員に研修等を日々行い、学校全体として個に応じた指導を実施すること。 ・1人1台端末を活用した授業実践への取組を増やすこと。	課題 ・基礎基本の定着を確実に授業展開を構築し、学力の向上をすること。 ・1人1台端末を積極的に活用した授業や家庭学習を行い、個に応じた指導や協働的な学びを実現すること。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進	・全学年、週に1回ずつ国語と算数の朝学習を実施。	・児童へのアンケート結果で、80%以上の児童が学習が分かること回答	B	B	B	・毎週水曜日に算数、木曜日に国語の朝学習を設定した。どの学年も毎週取り組むことができている。また、専科教員が4年、5年生を中心に指導、支援に入っている。	B	・朝の時間から、学習時間を設定できているところがよいと思います。学力向上につなげて欲しいです。	B	・国語92%・算数87%の児童が、授業が分かること回答した。朝学習を83%の学年が、70%以上朝学習を実施した。 ・算数の校内研修で授業改善を1年間行った。	B	・数値目標達成は素晴らしいです。更なる向上を目指してください。	・算数授業が分かること回答できる児童を、増やしていく。 ・特に、算数の校内研修や校内研修を積み重ね、指導法の改善を行っていく。
	○学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得	・1人1台端末を積極的に活用し、授業改善を行う。	・1人1台端末の活用 週5回	C	B	C	・ミライシードの研修を2回実施済み。 ・1人1台端末を、週3～4回活用している教員は、半数以上いる。 ・週5回以上活用できるよう、授業改善を行う。	C	・子供たちは、上手に端末を使えるようになっていきます。	C	・ミライシードの研修を年5回実施済み。回数を重ねることに様々なICT技術を学んでいる。 ・1人1台端末を、週3～4回活用している。	B	・数値目標は達成できるよう、運用工夫をお願いいたします。 ・1人1台端末を週の半分からそれ以上活用するなんて、すごいです。	・1人1台端末を毎日活用する教員としない教員との差がある。研修方法を工夫して、どの教員も同じように使っていくことができるようにする。
	○読書科の更なる充実	・読書科ノートを活用した探究的な学習を、公民図書館巡回職員との協力を得ながら実施する。	・探究的な学習 各学年年1回 ・成果物を全校に共有 年1回	C	B	C	・朝読書を、毎週火曜日に金曜日に設定した。どの学年も、毎週取り組むことができている。	C	・読書に親しみ、書籍からたくさんのお話を学んで欲しいです。	B	・朝学習は、全学年年間を通して実施した。 ・探究的な学習をどの学年も、計画的に年1回実施した。	B	・学校評価が「A」となるよう、意欲的に取り組んでください。 ・「読書は面白い」と実感することが大切だと思います。	・学年相応の書籍選択ができるよう、教育活動を工夫する。 ・「読書は面白い」と実感することが大切だと思いを推進する。
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・学期に1回のなわ跳び週間の設定	・全児童が江戸川区なわ跳びコンテストに参加し、児童へのアンケート結果で80%以上の児童が肯定的な回答	B	A	C	・「なわ跳びが、できるようになったか」のアンケートは、70%の児童が肯定的な回答だった。 ・なわ跳び週間にもっとなわ跳びに挑戦させる必要がある。	B	・なわ跳びも上手になって欲しい。学校でも家庭でも行うことが大切です。	B	・外部講師によるなわ跳びパフォーマンスを学んだことから、児童がなわ跳びに大変興味をもち始めた。 ・なわ跳びが段々できるようになった児童は、86%だった。	B	・「やれば出来る」と実感して欲しいです。	・なわ跳びの基礎基本を教える。 ・なわ跳びに取り組む時間を増やし、なわ跳びが好きな児童を育成する。
		・体力テストに向けた取り組み、体力テストの結果の活用等を行い、授業改善をする。	・児童へのアンケートで、80%以上の児童が体育の授業が楽しいと回答 ・1学期のアンケート結果は、90%以上だった。	A	C	B	・体力テストに向けて、どの学年も取り組むことができた。 ・1学期のアンケート結果は、90%以上だった。	A	・楽しい体育の授業を、お願いします。	B	・体力テストの結果は、41%が全国平均値を上回っていた。 ・体育が楽しいと答えた児童は、95%だった。	A	・例年2月に前もちつき大会を行います。4、5、6年生の男児の体力の低下を感じます。体力向上をお願いします。 ・楽しく学べることは、最高です。	・各児童の体力テストの結果には、自分に合った学習が動画で学べる。それらを活用して、個に応じた指導を行っていく。
実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導教員と連携し、教員向け研修会を実施	・教員向け特別支援研修会 年3回	A	B	B	・研修会を、1回実施済み。 ・学んだことを、2学期から指導に活かす。	B	・先生方がしっかり研修し、子供たちに力を付けて欲しいです。	B	・研修会を、年3回実施済み。 ・学んだことを、各教員が各学級で活用できた。	A	・教員の知識向上、情報共有にて、今後も実施したいです。 ・研修会を年3回も実施しているなんて、素晴らしいです。	・それぞれの教員が学びたい内容に合った研修となるよう、工夫していく。
		・臨床発達心理士によるアセスメントを実施	・アセスメント 年6回	A	A	A	・アセスメントを、2回実施済み。 ・事前準備も、滞りなく行えた。	A	・学校外部の先生からの学びを活用してください。	A	・アセスメントを、年6回実施済み。 ・指導内容を、日々の学習で生かしていった。	A	・年6回も実施しているなんて、素晴らしいです。	・全教員に、アセスメント結果を共有し、指導改善に生かす。
	○副職交流、交流及び共同学習の実施充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・交流、共同学習 各学期1回	A	A	A	・1年生と5年生が、計画通りの交流を1回実施済み。	A	・計画的に交流をされているのが良いです。	A	・年間を通して、1年生と5年生が年3回交流や共同学習を行った。	A	・計画的な交流の場は、大切だと思います。	・事前計画をしっかりと行い、交流や共同学習を継続する。
不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	・道徳授業、教員研修の充実	・いじめ防止授業 年3回 ・いじめ防止対策教員研修 年3回	A	A	B	・いじめ防止授業を、1回実施済み。 ・いじめ防止対策教員研修 1回実施済み。 ・児童集会で、いじめ防止について講話を実施済み。	B	・いじめ防止について、授業や集会等を行って指導を積み重ねて欲しいです。	B	・いじめ防止授業 年3回実施済み。 ・いじめ防止対策教員研修 年3回実施済み。 ・講師に、弁護士を迎えて研修を実施した。	B	・登校時の様子、公園等で遊んでいる様子から、いじめがあるとは思えません。 ・いじめは許せません。その都度、注意しましょう。	・教員研修だけでなく、児童の学習でも、具体的な事例をもとに、対応方法を多く学び、未然防止・早期発見を行えるようにする。
	○いじめ対策、不登校対策の実施・充実	・いじめ防止対策委員会、不登校防止対策委員会の実施	・いじめ防止対策委員会 月1回 ・不登校防止対策委員会 月1回	A	A	A	・いじめ、不登校共に、委員会を月1回実施済み。	B	・下校時に、かなり乱暴な言葉を友達に言っているのを、度々見かけます。	A	・いじめ、不登校共に、委員会を月1回実施済み。 ・登校ボランティア等のお迎えにより、不登校気味な児童の登校割合が増加した。	A	・子供同士の関わり方の工夫が必要だと感じます。	・各委員会、いじめ防止対策や不登校対策を具体的に進めていく。
	○子供たちの健全育成	・SNSルール、1人1台端末活用ルールの徹底	・児童へのアンケートで、80%以上の児童がルールを守れていると回答	A	A	A	・1学期のアンケート結果は、90%の児童がルールを守れていた。	A	・学校ルール、家庭ルールをしっかり守る児童の育成をしてください。	A	・児童は、95%の児童がルールを守っていた。	A	・児童は、家庭から学校に行くもので、生活の基本は家庭にあります。	・学校ルールを見直し、家庭ルールを決めていく。 ・決めたルールを、定期的に確認する。
学校（園）地域社会に開かれた実現	○学校ホームページの充実	・学校ホームページの更新	・学校ホームページへの掲載 月15回	A	A	A	・学校ホームページに、週4回程度、各学年の活動の様子を写真で掲載した。	A	・朝の登校時の関係（特に、土曜日登校等）で、ホームページはよく見ます。最近、よく更新されています。	A	・日々の各学年の教育活動や学校行事等を月15日以上掲載した。	A	・朝の登校見守りの土曜日登校確認のため、ホームページはよく見ます。年行事等、便利に利用しています。 ・月の半分をやりぬくことは大変だと思います。頑張ってください。	・教職員内で役割分担を行い、開かれた学校となるよう、情報公開を行っていく。
	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、学校評議員、教職員へのアンケート調査の実施	・児童アンケート 年3回 ・保護者アンケート 年1回 ・学校評議員アンケート 年2回 ・教職員アンケート 年3回	A	A	A	・児童アンケート 1回実施済み ・教職員アンケート 1回実施済み	B	・アンケート結果を分析し、教育活動に活かしてください。	A	・児童アンケート年3回、保護者アンケート年1回、学校評議員アンケート年2回、教職員アンケート年3回実施済み。 ・結果を分析し、教育活動に生かした。	A	・学校と家庭が連絡を取り合いながら、一体となっていくのが素晴らしいと思います。	・今年度の評価結果を分析し、改善を行った。評価項目の見直しをしたりする。
教育の特色ある展開	○蓮の育成	・蓮植え（4月）、蓮堀り（10月）を実施 ・総合的な学習の時間で、蓮等について学習しまとめる。	・児童の参加 90%以上 ・学習成果物の掲示 年1回	A	A	A	・4月に蓮植えを、90%以上の参加で実施済み。 ・蓮堀りに向けた学習成果物を作成、掲示済み。	A	・毎回、見学させて頂いています。校長先生をはじめ、関係者は大変だと思いますが、児童の喜々とした態度に感銘します。ぜひ、続けて欲しいと思います。	A	・児童の参加90%以上、学習成果物の掲示年1回実施済み。 ・総合的な学習の時間で、各自が調べたい内容別に分かれて、蓮について調べ学習を行った。	A	・社会人になった二小の卒業生と話をすると、必ず蓮植えの話が出ます。良い思い出になっていると思います。 ・区内に2校、苗を植え、芽が出て花が咲き、蓮堀りを泥んこで収穫するのは、素晴らしい体験です。	・継続できるよう、学習環境を整えていく。 ・学校全体で、蓮の教育を継続できるように、役割分担を行う。
	○働き方改革の推進	・月2回の定時退勤日の設定	・全教職員の月残業時間 55時間以下	C	C	C	・特に、5月～6月は残業時間が多くなった。 ・2学期の学校行事に向けて、計画的に仕事をしていく。	C	・いつも職員室の明かりがついていて、気の毒だと思います。	C	・10月～11月の残業時間が多くなった。 ・定時退勤日の勤行や、計画的に残業時間の削減ができ始めている教員が増加した。	C	・相変わらず残業が多いように見受けられます。 ・意欲低下とならぬよう、効率の良い働き方を継続して模索してください。 ・先生方に「明日も頑張ろう」の気持ちにならせて欲しいです。	・仕事内容を見直し、統合や削減を行う。 ・教員がしなくてもよい仕事については、分担を行う。